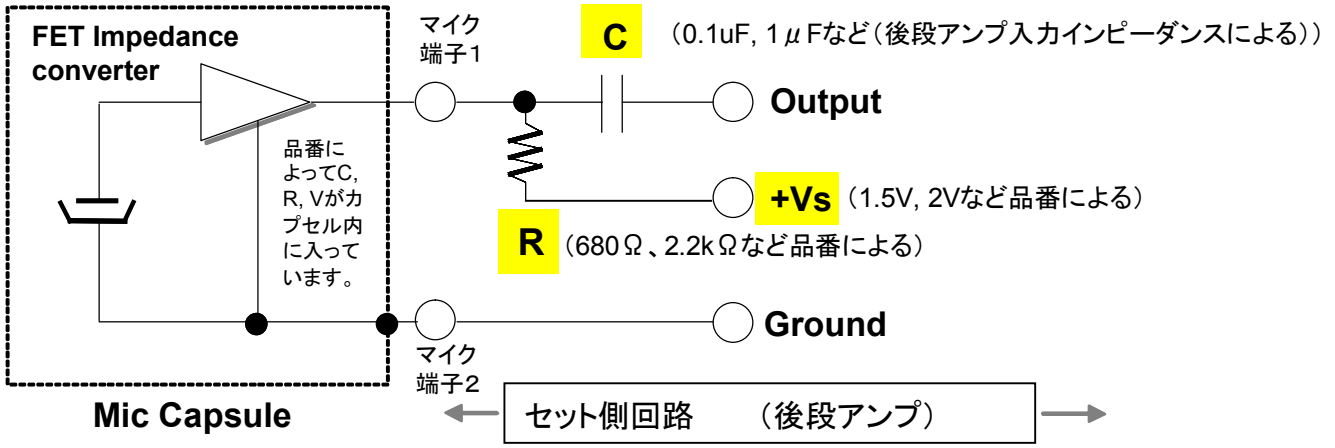
エレクトレットコンデンサマイクロホン（ECM）動作回路図

下記はECMの標準測定回路図です。



ECMの出力インピーダンスについて

- ECMの出力インピーダンスはセット側回路の抵抗Rで決定されます。
- 上記の場合、R=2.2kΩがECMのマックス出力インピーダンスになります。
- 通常は、ECMの感度・F特に影響を与えないように、後段アンプの入力インピーダンスZinをECM出力インピーダンスよりも数十倍以上（100kΩ以上）にして下さい。

ECMの感度について

- ECMの感度は+VsとRの値によって変わります。仕様書に記載されている+Vs, Rの値でお使い下さい。それ以外でご使用の場合はご相談下さい。

ECMの周波数特性について

- マイク端子1の出力には直流電圧が含まれています。この直流電圧をカップリングコンデンサ（C）でカットして下さい。Cの大きさは後段アンプの入力インピーダンスZinで決定されます。用途に応じて不要な低域カットオフ周波数を設定して下さい。
- 低域カットオフ周波数(Fc)は次の算式によって求めることができます。$Fc=1/2\pi CZin$

＊これらの情報は参考情報です。ご使用時には、お客様の実際の機器にてご確認の上ご使用ください。